

令和3年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程)

| | | | | | | | |
|----|-----|----|---|---|-----|-----|----|
| 教科 | 外国語 | 学年 | 1 | 年 | 時間数 | 105 | 時間 |
|----|-----|----|---|---|-----|-----|----|

| | | | |
|------|---------------------------|------|-----|
| 教科書名 | SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 | 出版社名 | 開隆堂 |
|------|---------------------------|------|-----|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 |
|----------------|-------------------------------------|--|---|-------|---|--|--|
| | | 単元 | 内容 | 知 | 思 | 主 | |
| 一 学 期 | 4 | Get Ready 中学英語をはじめよう | 小学校英語の復習 | ○ | | | 授業の概要 アルファベット、一般動詞、be動詞、三人称単数形、代名詞、現在進行形、疑問詞、過去形など、今後の英語習得に必要な基礎的な事項を、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能を通して学習していきます。 |
| | | アルファベットを確かめよう | like / can / want to ~ / when, where の疑問文など | ◎ | ○ | | |
| | | 辞書を書いてみよう | アルファベットの形と発音、音と文字の関係 | | ◎ | ○ | |
| | | 1 友だちを作ろう | 辞書の引き方 | ○ | | | |
| | 5 | 数の言い方 | be動詞(行程・否定・疑問)/whereの疑問文 | ◎ | ○ | | |
| | | 中間考査(5/18~5/19) | 数字、年齢、電話番号、値段 | ◎ | ○ | | |
| | | 2 1-Bの生徒たち | 一般動詞(肯定・否定・疑問)/複数形/whereの疑問文、 | ◎ | ○ | | |
| | 6 | 曜日と天気の違い 英語でやりとりしよう① アクション | 曜日の歌、Sunday~Saturday Are you~/Do you~/when, whereの疑問文 命令文 | ◎ | ○ | | |
| | | 3 タレントショーを聞こう | can(肯定・否定・疑問)/whatの疑問文 | ◎ | ○ | | |
| | | 期末考査3年(6/28~7/2)、1・2年(6/29~7/2) | | ◎ | ○ | | |
| | 7 | 考えを整理し、表現しよう | 自分の好きなことについて、まとまりのある内容を話す。マッピングの使用 | ◎ | ○ | | |
| | | opt1 あなたの知らない私 | スピーチの内容を聞き取ったり読み取ったりする。自己紹介をしたり、書いたりする。友だちのスピーチを聞いて感じたり考えたりしたことを即興で伝え合う。 | ◎ | ○ | | |
| ハンバーガーショップへ行こう | | 注文の仕方、金額などを伝え合う。Can I have ~? / How much ~? | ◎ | ○ | | | |
| 夏季 | 夏季休業日(7/21~8/24) | | | | | 学習の到達目標 ・I am ~. やS+V+Oの文を用いて、自己紹介をすることができる。 ・He/She is ~や一般動詞の三人称単数現在形を用いて、家族や友達を紹介するスピーチができる。 ・助動詞canや現在進行形を用いて、好きな写真などを説明する簡単な記事を書くことができる。 ・一般動詞の過去形を用いて、自分の好きなものについてスピーチができる。 ・友だちのスピーチを聞いて感じたり考えたりしたことを即興で伝え合うことができる。 ・過去形などを用いて、思い出の出来事や自分の好きなものなどのスピーチができる。 ・自分が行ったことのある所について表現することができる。 | |
| 二 学 期 | 8 | 4 Let's Enjoy Japanese Culture. | This is ~. That is ~.(肯定・否定・疑問)/代名詞/whatの疑問文 | ◎ | ○ | | |
| | | 持ち主をたずねよう | 自分や相手の持ち物などについて伝え合う。Which ~? / Whose ~? | | ◎ | ○ | |
| | 9 | 5 The Junior Safety Patrol | 三人称・単数・現在(肯定・否定・疑問) | ◎ | ○ | | |
| | | 季節・月の名前 | 春夏秋冬、January~December 自分の好きな季節や月などについて伝え合う。 | | ◎ | ○ | |
| | 10 | 中間考査(10/5~10/6) | | ◎ | ○ | | |
| | | 6 The Way to School | 目的格 him, her / whyの疑問文、Because ~. | ◎ | ○ | | |
| | | 道案内をしよう① 店内放送を聞こう | 駅ビルの道案内で、自分が行きたい場所や行き方などを伝え合う。店内放送で使う表現について、聞き取る。 | | ◎ | ○ | |
| | 11 | 順番・日付の言い方 | 自分の誕生日について伝え合う。 | ○ | ◎ | | |
| | | 7 Research on Australia | There is [are] ~. / howの疑問文 | ◎ | ○ | | |
| | | 話の組み立てを考えよう 英語でやりとりしよう② | 自分の好きな季節について自分の考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話す。相手のできることや好きなことなどについて、canや自分以外のものを示す言い方、理由や存在、手段などの表現の特徴や決まりの理解をもとに、伝え合う。 | ◎ | ○ | | |
| 12 | 期末考査3年(11/29~12/3)、1・2年(11/30~12/3) | | ◎ | ○ | | | |
| | 疑問詞のまとめ | 5W1Hの意味や働きを理解し、相手や自分のことについて質問したり答えたりする。 | ◎ | ○ | | | |
| | opt2 この人を知っていますか インタビューを聞こう | スピーチの内容を聞き取ったり読み取ったりする。好きな人物について紹介したり、書いたりする。また、意見交換する。 インタビューで使う表現について、その人物の誕生日などの情報を聞き取る。 | ◎ | ○ | | | |
| 冬季 | 冬季休業日(12/21~1/6) | | | | | 主体的に学習に取り組む態度 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを利用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 | |
| 三 学 期 | 1 | 8 The Year-End Events | 現在進行形(肯定・否定・疑問) | ◎ | ○ | | |
| | | 絵や写真を英語で表現しよう | 相手にわかってもらえるように、ある絵の特徴について情報を伝え合う。 | | ◎ | ○ | |
| | | 9 A Friend to Finland | 一般動詞の過去形(肯定・否定・疑問) | ◎ | ○ | | |
| | 2 | 文の内容を整理し、表現しよう | Program8.8で聞いたり読んだりした内容について、情報を整理し、説明する。 | | ◎ | ○ | |
| | | 10 Grandma Baba's Warning Ideas! | be動詞の過去形 / 過去進行形(肯定・否定・疑問) | ◎ | ○ | | |
| | | 学年末考査3年(2/21~2/28) 学年末考査1・2年(2/22~2/28) | | ◎ | ○ | | |
| 3 | 英語でやりとりしよう③ | 相手のしていることやしたことについて、伝え合う。 | ○ | ◎ | | | |
| | 私が選んだ1枚 絵はがきを書こう | 思い出の出来事や自分の好きなものなどのスピーチ 自分が行ったことのある所について表現する。 | | ◎ | ○ | | |
| | | | | | | 評価の方法 学習の状況は「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方」、「定期考査」、「小テスト等」、「提出物(レポートやノート)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 | |
| | | | | | | 備考 | |

令和3年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程)

| | | | | | | | |
|----|-----------------|----|---|---|-----|----|----|
| 教科 | グローバル・スキル Basic | 学年 | 1 | 年 | 時間数 | 35 | 時間 |
|----|-----------------|----|---|---|-----|----|----|

| | | | |
|------|-----------------|------|----------------|
| 教科書名 | グローバル・スキル Basic | 出版社名 | 愛媛県立宇和島南中等教育学校 |
|------|-----------------|------|----------------|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 | |
|---------------------|--|--|--|-------|---|--|---|--|
| | | 単元 | 内容 | 知 | 思 | 主 | | |
| 一学期 | 4 | 導入 | 小学校英語の復習 | ○ | | | 授業の概要 アルファベット、一般動詞、be動詞、三人称単数形、代名詞、現在進行形、疑問詞、過去形など、今後の英語習得に必要な基礎的な事項を、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能を通して学習していきます。 | |
| | | アルファベットを確かめよう | アルファベットの形と発音、音と文字の関係 | ◎ | ○ | ○ | | |
| | 5 | 数の言い方 | 年齢や電話番号、値段などについて、聞き取ったり伝え合ったりする。 | ◎ | ○ | ○ | | |
| | | 中間考査(5/18～5/19) | | ○ | ◎ | ○ | | |
| | | 曜日と天気の違い | 曜日の歌、Sunday～Saturday | ◎ | ○ | ○ | | |
| | 6 | 英語でやりとりしよう① | Are you～?/Do you～?/when, whereの疑問文 命令文 | ◎ | ○ | ○ | | 学習の到達目標 |
| | | 期末考査3年(6/28～7/2)、1・2年(6/29～7/2) | | ◎ | ○ | ○ | | ・I am～、やS+V+Oの文を用いて、自己紹介をすることができる。 ・He/She is～や一般動詞の三人称単数現在形を用いて、家族や友達を紹介するスピーチができる。 ・助動詞canや現在進行形を用いて、好きな写真などを説明する簡単な記事を書くことができる。 ・一般動詞の過去形を用いて、自分の好きなものについてスピーチができる。 ・友だちのスピーチを聞いて感じたり考えたりしたことを即興で伝え合うことができる。 ・過去形などを用いて、思い出の出来事や自分の好きなものなどのスピーチができる。 ・自分が行ったことのある所について表現することができる。 |
| 二学期 | 7 | 考えを整理し、表現しよう | 自分の好きなことについて、まとまりのある内容を話す。マッピングの使用 | ◎ | ○ | ○ | 評価の観点 知識・技能 外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 | |
| | | あなたの知らない私 | スピーチの内容を聞き取ったり読み取ったりする。自己紹介をしたり、書いたりする。友だちのスピーチを聞いて感じたり考えたりしたことを即興で伝え合う。 | ◎ | ○ | ○ | | |
| | ハンバーガーショップへ行こう | 注文の仕方、金額などを伝え合う。Can I have ～? / How much ～? | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | | | |
| | 8 | 持ち主をたずねよう | 自分や相手の持ち物などについて伝え合う。Which ～? / Whose ～? | ◎ | ○ | ○ | | |
| | | 季節・月の名前 | 春夏秋冬、January～December 自分の好きな季節や月などについて伝え合う。 | ◎ | ○ | ○ | | |
| | 9 | 中間考査(10/5～10/6) | | ◎ | ○ | ○ | | |
| 道案内をしよう① | | 駅ビルの道案内で、自分が行きたい場所や行き方などを伝え合う。店内放送で使う表現について、聞き取る。 | ◎ | ○ | ○ | | | |
| 順番・日付の言い方 | | 自分の誕生日について伝え合う。 | ○ | ◎ | ○ | | | |
| 10 | 話の組み立てを考えよう | 自分の好きな季節について自分の考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話す。 | ◎ | ○ | ○ | 思考・判断・表現 具体的で身近な話題について、学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合っている。 | | |
| | 英語でやりとりしよう② | 相手のできることや好きなことなどについて、canや自分以外のものを示す言い方、理由や存在、手段などの表現の特徴や決まりの理解をもとに、伝え合う。 | ◎ | ○ | ○ | | | |
| 11 | 期末考査3年(11/29～12/3)、1・2年(11/30～12/3) | | ◎ | ○ | ○ | 主体的に学習に取り組む態度 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたことを読み取ったり活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 | | |
| | この人を知っていますか | スピーチの内容を聞き取ったり読み取ったりする。好きな人物について紹介したり、書いたりする。また、意見交換する。 | ◎ | ○ | ○ | 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 | | |
| 12 | インタビューを聞こう | インタビューで使う表現について、その人物の誕生日などの情報を聞き取る。 | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | 評価方法 学習の状況は「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方」、「定期考査」、「小テスト等」、「提出物(レポートやノート)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 | | |
| 三学期 | 1 | 絵や写真を英語で表現しよう | 相手にわかってもらえるように、ある絵の特徴について情報を伝え合う。 | ◎ | ○ | ○ | 備考 | |
| | | | | ◎ | ○ | ○ | | |
| | 学年末考査3年(2/21～2/28) 学年末考査1・2年(2/22～2/28) | | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | 2 | 英語でやりとりしよう③ | 相手のしていることやしたことについて、伝え合う。 | ○ | ◎ | ○ | | |
| 私が選んだ1枚 絵はがきを書こう | | 思い出の出来事や自分の好きなものなどのスピーチ 自分が行ったことのある所について表現する。 | ○ | ◎ | ○ | | | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程)

| | | | | | | | |
|----|-----|----|---|---|-----|-----|----|
| 教科 | 外国語 | 学年 | 2 | 年 | 時間数 | 105 | 時間 |
|----|-----|----|---|---|-----|-----|----|

| | | | |
|------|---------------------------|------|-----|
| 教科書名 | SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 | 出版社名 | 開隆堂 |
|------|---------------------------|------|-----|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 |
|-----|---------------|-------------------------------------|--|-------|---|---|---|
| | | 単元 | 内容 | 知 | 思 | 主 | |
| 一学期 | 4 | 1年の復習 辞書を読んでみよう | 1・2年の復習をする。辞書に書かれている情報について確認する。 | ○ | | | <p style="text-align: center;">授 業 の 概 要</p> 1年生の学習事項を復習するとともに、助動詞、接続詞、動名詞、不定詞、比較表現、現在完了形、現在完了進行形などの重要文法事項を学習し、外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)が身に付くよう学習する。 |
| | | L1. Start of a New School Year | 未来表現 / 接続詞 when / if | ◎ | ○ | | |
| | | 情報をつながながらメモをとる | マッピングでメモをとる。 | | ◎ | ○ | |
| | | L2. Leave Only Footprints | 接続詞 that / must / have [has] to | ◎ | ○ | | |
| | | 中間考査(5/18～5/19) | | ◎ | ◎ | | |
| | | 天気予報を聞こう | 天気予報を聞いて、必要な情報を捉える。 | | ◎ | ○ | |
| | 5 | 電話をかけよう | いろいろな場面に応じて、自分の状況や条件などについて電話で伝え合う。 | | ◎ | ○ | |
| | | スープの材料 | 自分たちの好きなスープ作りに必要な材料について伝え合う。 | ◎ | ○ | | |
| | | L3. Taste of Culture | (to+動詞の原形) (不定詞) / (動詞の-ing形) (動名詞) | ◎ | ○ | | |
| | | 期末考査3年(6/28～7/2)、1・2年(6/29～7/2) | | ◎ | ◎ | | |
| | | 文章の構成を考えよう | 自分の行きたい場所を紹介するために、自分の考えについて、書く。 | ◎ | ○ | | |
| | | 「夢の旅行」を企画しよう。 | グループプレゼンテーション | | ◎ | ○ | |
| 夏季 | 7 | Gon, the Little Fox | 『ごんぎつね』の物語を読んで、概要や登場人物の心情を捉え、思ったことについて書く。 | ○ | ◎ | | <p style="text-align: center;">学 習 の 到 達 目 標</p> ・未来表現や接続詞、助動詞を用いて、自分の考えを相手にわかってもらえるように、夏休みの予定や、修学旅行で行きたい場所、ペットにしたい動物、将来なりたい職業について、理由とともに考えを伝え合ったり、書いたりすることができる。 ・不定詞、動名詞、比較表現を用いて、自分の考えを相手にわかってもらえるように、自分の好きなものや大切なもの、食べたいものやおすすめのメニューについて伝え合ったり、書いたりすることができる。 ・既習事項や現在完了形を用いて、予定の進捗状況や経験、継続していることについて、伝え合ったり、書いたりすることができる。 ・友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、思ったり、考えたりしたことを即興で伝え合うことができる。 ・これまで習った表現を使って、「宝もの」についてまとまった英文を書き、即興で感想などを伝え合うことができる。 |
| | | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | |
| | | いろいろな形容詞 | 形容詞の意味や働きを理解のもとに、絵の内容について伝え合う。 | ◎ | ○ | | |
| | | L4. High-Tech Nature | 比較級/最上級/ as～as… | ◎ | ○ | | |
| | | 楽器の名前 | 自分が演奏したい楽器について伝え合う。 | | ◎ | ○ | |
| | | L5. Work Experience | how to ～ / (look+形容詞) (become+名詞 [形容詞]) / (主語+動詞+人+もの) | ◎ | ○ | | |
| | 8 | 中間考査(10/5～10/6) | | ◎ | ◎ | | |
| | | レストランで食事しよう | レストランで注文するために、自分の食べたいものやおすすめメニューなどについて伝え合う。 | ◎ | ○ | | |
| | | L6. Live Life in True Harmony | 受け身 | ◎ | ○ | | |
| | | 会話をつなげ、深めよう | 相づち、疑問詞を使った疑問文 | ◎ | ○ | | |
| | | こんな人になりたい | ポスター発表(グループ) | | ◎ | ○ | |
| | | 期末考査3年(11/29～12/3)、1・2年(11/30～12/3) | | ◎ | ◎ | | |
| 二学期 | 9 | Freindship beyond Time and Borders | トルコと日本の友好関係について理解するために、トルコと日本に関する英文を読んで、概要や要点を捉える。 | ○ | ◎ | | <p style="text-align: center;">評 価 の 観 点</p> 知識・技能 外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 |
| | | いろいろな前置詞 | 位置を表す前置詞 | ◎ | ○ | | |
| | | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | |
| | | L7. A Gateway to Japan | 現在完了(完了、経験) | ◎ | ○ | | |
| | | 相手にわかりやすい説明をしよう | 相手が未知のものについて説明する手法 | | ◎ | ○ | |
| | | 空港アナウンスを聞こう | 便名、行先、状況を正確に聞き取る。 | ○ | ◎ | | |
| | 10 | L8. A Hope for Lasting Peace | 現在完了(継続) / 現在完了進行形 | ◎ | ○ | | |
| | | 説得力のある主張をしよう | 客観的な事実や具体的な理由とともに主張する。 | | ◎ | ○ | |
| | | メールで近況報告しよう | 事実に対して感想や意見をそえてメールを書く。 | | ◎ | ○ | |
| | | 学年末考査3年(2/21～2/28) | | ◎ | ◎ | | |
| | | 学年末考査1・2年(2/22～2/28) | | ◎ | ◎ | | |
| | | この1年で得た「宝もの」 | 自己PR | | ◎ | ○ | |
| 11 | 町の風景 | 身の回りの施設など | ○ | ◎ | | | |
| | Visas of Hope | Reading(復習) | ○ | ◎ | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 三学期 | 1 | | | | | <p style="text-align: center;">評 価 方 法</p> 学習の状況は「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方」、「定期考査」、「小テスト等」、「提出物(レポートやノート)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 2 | | | | | | <p style="text-align: center;">備 考</p> | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程)

| | | | | | | | |
|----|-----------------|----|---|---|-----|----|----|
| 教科 | グローバル・スキル Basic | 学年 | 2 | 年 | 時間数 | 35 | 時間 |
|----|-----------------|----|---|---|-----|----|----|

| | | | |
|------|-----------------|------|----------------|
| 教科書名 | グローバル・スキル Basic | 出版社名 | 愛媛県立宇和島南中等教育学校 |
|------|-----------------|------|----------------|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 |
|-------------|---|--|---|-------|---|---|--|
| | | 単元 | 内容 | 知 | 思 | 主 | |
| 一 学 期 | 4 | 導入 | 1・2年の復習をする。 | ◎ | | | 授 業 の 概 要 1年生の学習事項を復習するとともに、助動詞、接続詞、動名詞、不定詞、比較表現、現在完了形、現在完了進行形などの重要文法事項を学習し、外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)が身に付くよう学習する。 学 習 の 到 達 目 標 ・未来表現や接続詞、助動詞を用いて、自分の考えを相手にわかってもらえるように、夏休みの予定や、修学旅行で行きたい場所、ペットにしたい動物、将来なりたい職業について、理由とともに考えを伝え合ったり、書いたりすることができる。 ・不定詞、動名詞、比較表現を用いて、自分の考えを相手にわかってもらえるように、自分の好きなものや大切なもの、食べたいものやおすすめのメニューについて伝え合ったり、書いたりすることができる。 ・既習事項や現在完了形を用いて、予定の進捗状況や経験、継続していることについて、伝え合ったり、書いたりすることができる。 ・友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、思ったり、考えたりしたことを即興で伝え合うことができる。 ・これまで習った表現を使って、「宝もの」についてまとまった英文を書き、即興で感想などを伝え合うことができる。 |
| | | 情報をつながながらメモをとる | マッピングでメモをとる。 | ○ | ◎ | | |
| | | 中間考査(5/18～5/19) | | | ◎ | | |
| | | 天気予報を聞こう | 天気予報を聞いて、必要な情報を捉える。 | | ◎ | ○ | |
| | 5 | 電話をかけよう | いろいろな場面に応じて、自分の状況や要件などについて電話で伝え合う。 | | ◎ | ○ | |
| | | スープの材料 | 自分たちの好きなスープ作りに必要な材料について伝え合う。 | ◎ | ○ | | |
| | | 期末考査3年(6/28～7/2)、1・2年(6/29～7/2) | | | ◎ | | |
| | | 文章の構成を考えよう | 自分の行きたい場所を紹介するために、自分の考えについて、書く。 | ◎ | ○ | | |
| | 6 | 「夢の旅行」を企画しよう。 | グループプレゼンテーション | | ◎ | ○ | |
| | | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | |
| | | いろいろな形容詞 | 形容詞の意味や働きの理解をもとに、絵の内容について伝え合う。 | ◎ | ○ | | |
| | | 楽器の名前 | 自分が演奏したい楽器について伝え合う。 | | ◎ | ○ | |
| 二 学 期 | 7 | 中間考査(10/5～10/6) | | | ◎ | | 知 識 ・ 技 能 外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 具体的で身近な話題について、学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合っている。 聞いたたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| | | レストランで食事しよう | レストランで注文するために、自分の食べたいものやおすすめメニューなどについて伝え合う。 | ◎ | ○ | | |
| | | 会話をつなげ、深めよう | 相づち、疑問詞を使った疑問文 | ◎ | ○ | | |
| | | こんな人になりたい | ポスター発表(グループ) | | ◎ | ○ | |
| | 8 | 期末考査3年(11/29～12/3)、1・2年(11/30～12/3) | | | ◎ | | |
| | | いろいろな前置詞 | 位置を表す前置詞 | ○ | ◎ | | |
| | | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | |
| | | 相手にわかりやすい説明をしよう | 相手が未知のものについて説明する手法 | ◎ | ○ | | |
| | 9 | 空港アナウンスを聞こう | 便名、行先、状況を正確に聞き取る。 | ○ | ◎ | | |
| | | 説得力のある主張をしよう | 客観的な事実や具体的な理由とともに主張する。 | | ◎ | ○ | |
| | | メールで近況報告をしよう | 事実に対して感想や意見をそえてメールを書く。 | | ◎ | ○ | |
| | | 学年末考査3年(2/21～2/28) 学年末考査1・2年(2/22～2/28) | | | ◎ | | |
| 三 学 期 | 1 | この1年で得た「宝もの」 | 自己PR | | ◎ | ○ | 備 考 学習の状況は「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方」、「定期考査」、「小テスト等」、「提出物(レポートやノート)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 |
| | | | | ○ | ◎ | | |
| | | | | ◎ | ○ | | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程)

| | | | | | | | |
|----|-----|----|---|---|-----|-----|----|
| 教科 | 外国語 | 学年 | 3 | 年 | 時間数 | 105 | 時間 |
|----|-----|----|---|---|-----|-----|----|

| | | | |
|------|---------------------------|------|-----|
| 教科書名 | SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 | 出版社名 | 開隆堂 |
|------|---------------------------|------|-----|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 |
|---------------------------------|-------------------------------------|--|---|-------|---|---|---|
| | | 単元 | 内容 | 知 | 思 | 主 | |
| 一 学 期 | 4 | 辞書を使いこなそう | 1・2年の復習をする。句動詞の引き方を学習する。 | ○ | | | 授 業 の 概 要 1、2年生の学習事項を復習するとともに、分詞・関係代名詞・疑問詞節・現在完了進行形・仮定法などの重要文法事項を学習し、外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)が身に付くよう学習する。 |
| | | Bentos Are Interesting! | ask [tell / want] ~(人) to... / It is ~ (for+人) to... / 主語+be動詞+形容詞+that ~. 友だちに手伝ってほしいことについて、聞き取ったり書いたりする。 | ◎ | ○ | | |
| | | 家の中と外 | 家具、設備、衣服などの英語の言い方を知る。 | ○ | | ○ | |
| | | ディベートをしよう | ディベートの流れと意見の主張の仕方 | ○ | ◎ | | |
| | | Good Night. Sleep Tight. | 主語+動詞+(人)+疑問詞節 / 主語+動詞+人など+that ~. | ◎ | ○ | | |
| | | 中間考査(5/18～5/19) | | ○ | ◎ | | |
| | 5 | コンサートや学校行事がいつあるかなどについて、聞き取ったり書いたりする。 | ○ | | ◎ | ○ | |
| | | 道案内をしよう②(電車の乗りかえ) | Could you tell me how to get to ~? | | ◎ | ○ | |
| | | A Hot Sport Today | 主語+動詞+目的語+補語(名詞 / 形容詞) / 主語+動詞+目的語+動詞の原形 相手にわかってもらえるように、性格や特徴、気持ちを動かすものについて伝え合う。 | ◎ | ○ | | |
| | | メモのとり方を学ぼう | 5W1Hを意識しながらメモをとる。 | ○ | ◎ | | |
| | | 期末考査3年(6/28～7/2)、1・2年(6/29～7/2) | | ◎ | ○ | | |
| | | 記者会見を開こう | ジョン万次郎の記者会見の概要を聞き取ったり読み取ったりする。 | ◎ | ○ | | |
| 7 | Faithful Elephants | 『かわいそうなぞう』の概要や飼育員たちの心情を捉えたり、自分の考えについて書いたりする。 | ◎ | ○ | | | |
| | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | | |
| | 8 | 不良品を交換しよう | 品物に不備があったので、交換を依頼する。 | ◎ | ○ | | |
| | | Sign Languages, Not | 分詞の後置修飾(現在分詞・過去分詞) | ◎ | ○ | | |
| | | ホームページで学校を紹介しよう | ホームページの構成を分析し、自分の学校の行事や部活を英語で書く。 | ○ | ◎ | | |
| | 9 | かんたんな表現で言いかえよう | 英語での言い方を知らないものを、自分が知っている単語で表現する。 | | ◎ | ○ | |
| 中間考査(10/5～10/6) | | | ◎ | ○ | | | |
| The Story of Chocolate | | 関係代名詞(主格)who / which / that | ◎ | ○ | | | |
| わかりやすい文章を考えよう | | つながりごと、構成を意識して文章を読む。 | ○ | | | | |
| 動詞の使い分け | | look, see, watch / hear, listen | ○ | | | | |
| The Great Pacific Garbage Patch | | 関係代名詞(目的格)which / that / 省略 | ◎ | ○ | | | |
| 10 | ディスカッションをしよう | 無人島に持っていきものを議論する。 | | ◎ | ○ | | |
| | 期末考査3年(11/29～12/3)、1・2年(11/30～12/3) | | ◎ | ○ | | | |
| | あなたの町を世界にPRしよう | 登場人物の地元のPRの概要を聞き取ったり読み取ったりする | ○ | ◎ | | | |
| | 非常時のアナウンスを開こう | デパート火災で避難経路を聞き取る。 | ◎ | ○ | | | |
| | Is AI a Friend or an Enemy? | 仮定法過去 / I wish + 主語 + 仮定法過去 | ◎ | ○ | | | |
| | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | | |
| 11 | 1 | Malala's Voice for the Future | マララさんの思いについて理解するために、彼女の物語を読んで、概要や要点を捉える | ◎ | ○ | | |
| | | 中学校の思い出を残そう | 登場人物の中学校の思い出を読み取る。 | | ◎ | ○ | |
| | | オリンピック競技・パラリンピック競技 | 自分が出てみたい競技などについて、伝え合う。 | ○ | ◎ | | |
| | 2 | The Ig Nobel Prize | イグノーベル賞における日本人の活躍について読み取る。 | ◎ | ○ | | |
| | | 学年末考査3年(2/21～2/28) 学年末考査1・2年(2/22～2/28) | | ◎ | ○ | | |
| | | Library Lion | ルールとは何かや、物語を読んで自分が大事に思ったことをほかの人に伝えるために、 『とよかんライオン』の物語文を読んで、概要や要点を捉える。 | ○ | ◎ | | |
| 12 | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | | |
| | 1 | Malala's Voice for the Future | マララさんの思いについて理解するために、彼女の物語を読んで、概要や要点を捉える | ◎ | ○ | | |
| | | 中学校の思い出を残そう | 登場人物の中学校の思い出を読み取る。 | | ◎ | ○ | |
| | | オリンピック競技・パラリンピック競技 | 自分が出てみたい競技などについて、伝え合う。 | ○ | ◎ | | |
| | 2 | The Ig Nobel Prize | イグノーベル賞における日本人の活躍について読み取る。 | ◎ | ○ | | |
| | | 学年末考査3年(2/21～2/28) 学年末考査1・2年(2/22～2/28) | | ◎ | ○ | | |
| Library Lion | | ルールとは何かや、物語を読んで自分が大事に思ったことをほかの人に伝えるために、 『とよかんライオン』の物語文を読んで、概要や要点を捉える。 | ○ | ◎ | | | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程)

| | | | | | | | |
|----|-----------------|----|---|---|-----|----|----|
| 教科 | グローバル・スキル Basic | 学年 | 3 | 年 | 時間数 | 35 | 時間 |
|----|-----------------|----|---|---|-----|----|----|

| | | | |
|------|-----------------|------|----------------|
| 教科書名 | グローバル・スキル Basic | 出版社名 | 愛媛県立宇和島南中等教育学校 |
|------|-----------------|------|----------------|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 |
|------------------|------------------|--|--|-------|---|----|--|
| | | 単元 | 内容 | 知 | 思 | 主 | |
| 一学期 | 4 | 導入 | ALTIに地元の紹介をする。また、地元のアピールポイントを伝えあう。 | ○ | | | 授業の概要 1、2年生の学習事項を復習するとともに、分詞・関係代名詞・疑問詞節・現在完了進行形・仮定法などの重要文法事項を学習し、外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)が身に付くよう学習する。 学習の到達目標 ・ask [tell / want] ~ (人) to... / It is ~ (for+人) to... / 主語+be動詞+形容詞+that ~の文を用いて、日本や海外の文化について、簡単な紹介文が書ける。 ・分詞や関係代名詞を用いて、紹介したいものについて、まとまった文章が書ける。 ・ディスカッションで自分の意見が言える。 ・仮定法過去を用いて、AI(人工知能)の現状と可能性について、意見が言える。 ・3年間で習った表現を使って、中学校の思い出について過去から現在、未来まで書ける。 |
| | | 家の中と外 ディベートをしよう | 家具、設備、衣服などの英語の言い方を知る。 ディベートの流れと意見の主張の仕方 | ○ | ○ | ○ | |
| | 5 | 中間考査(5/18~5/19) | | ○ | ○ | ○ | |
| | | 道案内をしよう②(電車の乗りかえ) | Could you tel me how to get to ~? | ○ | ○ | ○ | |
| | 6 | メモのとり方を学ぼう | 5W1Hを意識しながらメモをとる。 | ○ | ○ | ○ | |
| | | 期末考査3年(6/28~7/2)、1・2年(6/29~7/2) | | ○ | ○ | ○ | |
| | 7 | | | ○ | ○ | ○ | |
| 夏季休業日(7/21~8/24) | | | | | | | |
| 二学期 | 8 | 不良品を交換しよう | 品物に不備があったので、交換を依頼する。 | ○ | ○ | ○ | 評価の観点 知識・技能 外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 思考・判断・表現 具体的で身近な話題について、学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合っている。 聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 主体的に学習に取り組む態度 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| | | ホームページで学校を紹介しよう かんたんな表現で言いかえよう | ホームページの構成を分析し、自分の学校の行事や部活を英語で書く。 英語での言い方を知らないものを、自分が知っている単語で表現する。 | ○ | ○ | ○ | |
| | 9 | 中間考査(10/5~10/6) | | ○ | ○ | ○ | |
| | | わかりやすい文章を考えよう | つなぎことば、構成を意識して文章を読む。 | ○ | ○ | ○ | |
| | 10 | ディスカッションをしよう | 無人島に持っていきものを議論する。 | ○ | ○ | ○ | |
| | | 期末考査3年(11/29~12/3)、1・2年(11/30~12/3) | | ○ | ○ | ○ | |
| | 11 | あなたの町を世界にPRしよう | 登場人物の地元のPRの概要を聞き取ったり読み取ったりする | ○ | ○ | ○ | |
| 非常時のアナウンスを聞こう | | デパート火災で避難経路を聞き取る。 | ○ | ○ | ○ | | |
| 12 | 冬季休業日(12/21~1/6) | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 三学期 | 1 | 中学校の思い出を残そう | 登場人物の中学校の思い出を読み取る。 | ○ | ○ | ○ | 評価方法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「学習態度・取り組み方」、「小テスト等」、「提出物(レポートやノート)」、「パフォーマンス」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点別に評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評価します。 |
| | | オリンピック競技・パラリンピック競技 | 自分が出てみたい競技などについて、伝え合う。 | ○ | ○ | ○ | |
| | 2 | 学年末考査3年(2/21~2/28) 学年末考査1・2年(2/22~2/28) | | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | ○ | ○ | ○ | |
| 3 | | | ○ | ○ | ○ | 備考 | |
| | | | ○ | ○ | ○ | | |

シ ラ バ ス

令和3年度

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|---------------|----|-----|----|----|-----|---|----|
| 教科 | 外国語 | 科目 | コミュニケーション英語 I | 学年 | 4 年 | 類型 | 共通 | 単位数 | 2 | 単位 |
|----|-----|----|---------------|----|-----|----|----|-----|---|----|

| | | | |
|------|---|------|------|
| 教科書名 | NEW ONE WORLD Communication I Revised Edition | 出版社名 | 教育出版 |
|------|---|------|------|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 | | |
|----------------------|--|--|--|-------|---|----|--|--|---|---|
| | | 単元 | 内容 | 関 | 表 | 理 | 知 | | | |
| 一学期 | 4 | Lesson 1 Let's See the World | Part 1 基本的な文構造① (S+V, S+V+C, S+V+O) | ◎ | ○ | ○ | ○ | 授業の概要 様々な話題に関する英文を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることを目指します。また、聞いたことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたり、簡潔に書いたりすることを目指します。 | | |
| | | | Part 2 基本的な文構造② (S+V+O+O, S+V+O+C) | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | Part 3 to不定詞 | | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | | |
| | 5 | Lesson 2 Bread Culture in Japan | Part 1 比較表現① (比較級, as ~as ...) | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | Part 2 受け身 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | | | Part 3 進行形 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | 中間考査(5/18~5/21) | | | | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | 復習 | Function in Use ① / Grammar in Focus ① | ○ | ○ | | ◎ | | | | |
| | 6 | Lesson 3 Why do Cats Purr? | Part 1 動名詞 | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | Part 2 S+V+O(= that節) | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | | | Part 3 分詞の形容詞としての用法 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | 7 | Lesson 4 The Power of Anime | Part 1 現在完了形 | ◎ | ○ | ○ | ○ | | 学習の到達目標 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 | |
| Part 2 過去完了形 | | | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | | |
| Part 3 比較表現② (最上級) | | | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | | |
| 復習 | Function in Use ② / Grammar in Focus ② | ○ | ○ | | ◎ | | | | | |
| 夏季休業日(7/21~8/24) | | | | | | | | | | |
| 二学期 | 8 | Lesson 5 Projects with a Difference | Part 1 関係代名詞who (主格) | ◎ | ○ | ○ | ○ | 評価の観点 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。 | | |
| | | | Part 2 関係代名詞which, that (主格) | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | | | Part 3 関係代名詞whom, which, that (目的格) | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | 9 | Lesson 6 We Are the World | Part 1 S+V+O(= 疑問詞節) | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | Part 2 S+V+O+to不定詞 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | | | Part 3 疑問詞+to不定詞 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | 中間考査5年(9/28~10/1) | | | | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | 中間考査4・6年(10/5~10/8) | | | | | ○ | ◎ | | ○ | |
| | 復習 | Function in Use ③ / Grammar in Focus ③ | ○ | ○ | | ◎ | | | | |
| | 10 | Lesson 7 Learning about Science around You | Part 1 It is ~ (for ...) + to不定詞 | ◎ | ○ | ○ | ○ | | 外国語表現の能力 英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。 | |
| | | | Part 2 It is ~ that ... (形式主語) | ○ | ○ | ○ | ◎ | | | |
| | | | Part 3 S+V+O+C(=現在分詞) | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| 11 | Lesson 8 The Ninth Symphony in December | Part 4 S+V+O+C(=原形不定詞) | ○ | ◎ | ○ | ○ | 外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 | | | |
| | | Part 1 関係代名詞what | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | Part 2 関係副詞where | ○ | ○ | ○ | ◎ | | | | |
| 期末考査(11/29~12/3) | | | | ○ | ◎ | ○ | | | | |
| 12 | Lesson 9 The Spirit of the Modern Olympics | Part 3 関係副詞when | ○ | ○ | ◎ | ○ | | 言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。 | | |
| | | Part 4 関係副詞why, how | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | | |
| | | 復習 | Function in Use ④ / Grammar in Focus ④ | ○ | ○ | | | | | ◎ |
| 冬季休業日(12/21~1/6) | | | | | | | | | | |
| 三学期 | 1 | Lesson 10 What is Globalization? | Part 1 分詞構文(現在分詞)① | ◎ | ○ | ○ | | | | ○ |
| | | | Part 2 分詞構文(現在分詞)② | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| | | | Part 3 現在完了進行形 | ○ | ○ | ◎ | | | ○ | |
| | | | Part 4 現在完了+受け身 | ○ | ◎ | ○ | | | ○ | |
| | 2 | Part 1 S+V+O+O(= that節) | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | Part 2 S+V+O+O(= 疑問詞節) | ○ | ○ | ○ | ◎ | | | | |
| 3 | Part 3 仮定法過去 | ○ | ○ | ◎ | ○ | 備考 | | | | |
| 学年末考査4・5年(2/21~2/28) | | | | ○ | ◎ | | ○ | | | |
| 復習 | Part 4 as if + 仮定法過去 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | | | |
| 復習 | Function in Use ⑤ / Grammar in Focus ⑤ | ○ | ○ | | ◎ | | | | | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|--------|----|-----|----|----|-----|---|----|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 英語表現 I | 学年 | 4 年 | 類型 | 共通 | 単位数 | 2 | 単位 |
|----|-----|----|--------|----|-----|----|----|-----|---|----|

| | | | |
|------|--------------------------------|------|------|
| 教科書名 | DUALSCOPE English Expression I | 出版社名 | 数研出版 |
|------|--------------------------------|------|------|

| 学期 | 月 | 指 導 計 画 | | 評 価 の 観 点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 | |
|----------------------|---------------------|--|--|---|---|---|---|---|---|
| | | 単 元 | 内 容 | 関 | 表 | 理 | 知 | | |
| 一 学 期 | 4 | Lesson 1 英語の型で表現する | Part 1 S + V / S + V + C / S + V + O Part 2 S + V + O + O / S + V + O + C Activity | ○ | ○ | ◎ | | 授 業 の 概 要 与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話したり、読み手や目的に応じて、簡潔に書くことを目指します。また、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表することを目指します。 | |
| | | Lesson 2 さまざまな「時」を表現する | Part 1 do / did / will do and be going to do Part 2 am doing / was doing / will be doing Part 3 have done / have been doing | ○ | ○ | ◎ | | | |
| | 5 | 中間考査(5/18～5/21) | | | ○ | ○ | ◎ | | |
| | 6 | Lesson 3 助動詞を使って表現する | Part 4 had done / had been doing / will have done Activity | ○ | ○ | ◎ | | | 学 習 の 到 達 目 標 ・与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 ・読み手や目的に応じて、簡潔に書く。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。 |
| | | | Part 1 can / may / must | ○ | ○ | ◎ | | | |
| | | | Part 2 should / Will [Won't] you ~? / Shall I [we] ~? Part 3 used to / Would you ~? / I'd like to do | ○ | ○ | ◎ | | | |
| | 7 | 期末考査(6/28～7/2) | | | ○ | ○ | ◎ | | |
| Lesson 4 受動態を使って表現する | | Activity Part 1 be done / have been done / be being done Part 2 It is said that ... / He is said to do | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| 夏季 | 8 | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | | | |
| 二 学 期 | 9 | Lesson 5 不定詞を使って表現する | Activity Part 1 to do Part 2 It is ... for A to do / S + V (want, ect.) + O + to do Part 3 seem to do / wh- (what, etc.) + to do | ○ | ◎ | ○ | ○ | 評 価 の 観 点 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。 外国語表現の能力 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。 外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。 | |
| | | | Activity | ○ | ◎ | ○ | ○ | | |
| | 10 | 中間考査5年(9/28～10/1) | Seminar ① | ○ | ◎ | ○ | ○ | | |
| | 10 | 中間考査4・6年(10/5～10/8) | | | ○ | ○ | ◎ | | |
| | 11 | Lesson 6 動名詞を使って表現する | Part 1 V + doing / preposition (+ one's) + doing Part 2 V + doing and V + to + do Activity | ○ | ○ | ◎ | | | |
| | | | Lesson 7 分詞を使って表現する | Part 1 ... doing [done] / V + O + doing and V + O + done Part 2 Doing ~, ... / Done ~, ... Activity | ○ | ○ | ◎ | | |
| | | | 言語活動 | Seminar ② | ○ | ◎ | ○ | | ○ |
| 12 | 期末考査(11/29～12/3) | | | ○ | ○ | ◎ | | | |
| | Lesson 8 比較を使って表現する | Part 1 as ~ as / more ~ than / the most ~ Part 2 Nothing is as ~ as [more ~ than] etc. Activity | ○ | ○ | ◎ | | | | |
| 冬季 | 1 | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | | | |
| 三 学 期 | 1 | Lesson 9 関係詞を使って表現する | Part 1 a person who ... / a thing which [that] ... Part 2 in which ... / what ... / , which ... Part 3 a day when ..., etc. / , when ... Activity | ○ | ○ | ◎ | | 評 価 方 法 学習の状況は、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」、「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点で評価します。具体的には、主に「出席」「授業態度・取り組み方」「定期考査」「提出物」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 | |
| | | | Lesson 10 関係詞を使って表現する | Part 1 If I had ~, ... / I wish I had ... Part 2 as if he were ... / Without ~, ... Activity | ○ | ○ | ◎ | | |
| | 2 | 学年末考査4・5年(2/21～2/28) | | | ○ | ○ | ◎ | | |
| | 3 | 言語活動 | Seminar ③④ | ○ | ◎ | ○ | ○ | | |
| Seminar ⑤ | | | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

| | | | | | | | | | |
|----|-----------|----|-------------|----|-----|----|----|-----|------|
| 教科 | グローバル・スキル | 科目 | グローバル・スキル I | 学年 | 4 年 | 類型 | 共通 | 単位数 | 1 単位 |
|----|-----------|----|-------------|----|-----|----|----|-----|------|

| | | | |
|------|-----------|------|------------|
| 教科書名 | グローバル・スキル | 出版社名 | 宇和島南中等教育学校 |
|------|-----------|------|------------|

| 学期 | 月 | 指 導 計 画 | | 評 価 の 観 点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 |
|-------------|----------------------|--------------------|--------------|-----------|---|---|---|---|
| | | 単 元 | 内 容 | 関 | 表 | 理 | 知 | |
| 一 学 期 | 4 | 英語によるスピーチ | テーマの決定 | ◎ | | | ○ | <p style="text-align: center;">授 業 の 概 要</p> スピーチ・プレゼンテーション・ディベート等の方法を、日本語に加え英語を交え体験的に学ぶことで、コミュニケーション力を高めます。英語の実践的運用能力を育成する活動や、コミュニケーション力・知識・語学力・思考力を統合して育成する活動を行います。 |
| | | | テーマについての調べ学習 | | ◎ | | ○ | |
| | | | スピーチを書く | | | ◎ | ○ | |
| | 5 | 中間考査(5/18~5/21) | 発表の仕方 | | | ◎ | ○ | |
| | | | 発表練習 | ◎ | | ○ | | |
| | 6 | 期末考査(6/28~7/2) | 発表会 | ◎ | | ○ | | |
| | | | 発表会 | ◎ | | ○ | | |
| 7 | プレゼンテーション | 発表会 | ◎ | | ○ | | | |
| | | 発表会 | ◎ | | ○ | | | |
| 二 学 期 | 8 | 夏季休業日(7/21~8/24) | 英文作成 | | | ◎ | ○ | <p style="text-align: center;">学 習 の 到 達 目 標</p> ・積極的に英語でコミュニケーションを図ることができる。 ・英語の実践的運用能力を身に付けることができる。 ・コミュニケーション力・知識・語学力・思考力を統合して身に付けることができる。 |
| | | | 発表の仕方 | | | ◎ | ○ | |
| | 中間考査5年(9/28~10/1) | | | ◎ | ○ | | | |
| | 中間考査4・6年(10/5~10/8) | | | ◎ | ○ | | | |
| | 9 | 発表練習 | 発表練習 | ◎ | | ○ | | |
| | | | 発表会 | ◎ | | ○ | | |
| | 10 | 英語能力測定のための検定試験について | 事前学習および受験 | ◎ | | ○ | | |
| | | | 事前学習および受験 | ◎ | | ○ | | |
| | 11 | 期末考査(11/29~12/3) | 振り返り | ◎ | | ○ | | |
| | | | 振り返り | ◎ | | ○ | | |
| 12 | 冬季休業日(12/21~1/6) | 振り返り | ◎ | | ○ | | | |
| | | 振り返り | ◎ | | ○ | | | |
| 三 学 期 | 1 | ディベート | テーマについての調べ学習 | ◎ | | | ○ | <p style="text-align: center;">評 価 方 法</p> 「関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」、「知識・理解」の4つの観点で評価します。主に、授業への取組、定期考査、提出物により評価します。学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 |
| | | | 役割分担 | | | | ◎ | |
| | | | 試合の仕方 | | | | ◎ | |
| | 2 | 試合の練習 | 試合の練習 | ◎ | | | ○ | |
| | | | 試合の練習 | ◎ | | | ○ | |
| 3 | 学年末考査4・5年(2/21~2/28) | 試合 | ◎ | | | ○ | | |
| | | 試合 | ◎ | | | ○ | | |

シ ラ バ ス

令和3年度

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|--------------|----|----|----|----------|-----|---|----|
| 教科 | 外国語 | 科目 | コミュニケーション英語Ⅱ | 学年 | 5年 | 類型 | グローバル文科系 | 単位数 | 3 | 単位 |
|----|-----|----|--------------|----|----|----|----------|-----|---|----|

| | | | |
|------|---|------|------|
| 教科書名 | PRO-VISION English Communication II New Edition | 出版社名 | 桐原書店 |
|------|---|------|------|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 | |
|-------------------------------|------------------|--|--|--|---|---|----|---|---|
| | | 単元 | 内容 | 関 | 表 | 理 | 知 | | |
| 一学期 | 4 | Lesson 1 | 自由に生きるとはどういうことか。多文化共生社会をどのように生きるか。 | | | ◎ | ○ | 授業の概要 コミュニケーション英語Ⅰの内容を踏まえ、読む、聞く、話す、書くの4技能をさらに向上させることを目指します。エッセイや評論といった新しいタイプの英文にも取り組み、情報や考えなどについて、討論をして結論をまとめたり、まとまりのある英文を書いたりする活動を行います。 | |
| | | The Freedom to Be Yourself | 過去を回想して語る表現、過去の習慣would 過去分詞で始まる分詞構文 | ○ | ◎ | | | | |
| | | Lesson 2 | 西洋社会から怠惰というレッテルを張られたナマケモノの生態を知る。 | ○ | ◎ | | | | |
| | | Are You Really a Sloth? | 現在のことについて語る表現ネットワーク 助動詞+have+過去分詞、完了形分詞構文 | ○ | ◎ | | | | |
| | 5 | 中間考査(5/18~5/21) | | | ○ | ○ | ◎ | | |
| | | Lesson 3 | 世界遺産に登録された富士山を今後どう守っていくか考える。 | | | ◎ | ○ | | |
| | 6 | Mount Fuji-The Eternal Mountain | 未来を展望して語る表現ネットワーク 無生物主語の構文、結果をあらわす不定詞 | ○ | ◎ | | | | 学習の到達目標 積極的に英語でコミュニケーションを図ることができる。 速読や精読など、目的にあった読み方ができる。 ・学んだことに基づき、話し合うなどしてまとめることができる。 ・学んだことに基づき、まとまりのある英文を書くことができる。 |
| | | Lesson 4 | Handwriting in the Digital Age | 手書きならではのメリットを知り、その意義を考える。 形容詞の叙述用法ネットワーク、倒置、前置詞+関係詞 | ○ | ○ | ◎ | | |
| | 7 | 期末考査(6/28~7/2) | | | ○ | ○ | ◎ | | |
| | | Lesson 5 | Designed to Change the World | デザインのおかげで、開発途上国の人々の暮らしを変える取組を知る。 後置修飾ネットワーク 関係副詞の非制限用法、wh+ever | | ◎ | | | ○ |
| 夏季 | | 夏季休業日(7/21~8/24) | | | | | | | |
| 二学期 | 8 | Reading 1 | 1882年に書かれた一通のラブレター。80年の時を越えた恋物語。 | | | ◎ | ○ | 評価の観点 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションへの関心を持ち、積極的に活動してコミュニケーションを図ろうとしている。 外国語表現の能力 外国語で話したり書いたりして、情報や考えを的確に表現している。 外国語理解の能力 外国語で聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解している。 言語や文化についての知識・理解 言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 | |
| | | The Love Letter | | ○ | ◎ | | | | |
| | 9 | Lesson 6 | 古代オリンピックの歴史を学び、現代オリンピックのあり方を問う。 | | | ◎ | ○ | | |
| | | The First Olympics | 否定構文ネットワーク | | | ◎ | ○ | | |
| | | 中間考査5年(9/28~10/1) | | | ○ | ○ | ◎ | | |
| | | 中間考査4・6年(10/5~10/8) | | | ○ | ○ | ◎ | | |
| | 10 | Lesson 7 | 挿入、with+名詞+~ 深海生物について知り、宇宙生命の存在の可能性を探る。 | ○ | ◎ | | | | |
| | | The Dark, Mysterious Universe Deep under the Ocean | 比較構文ネットワーク | ○ | ◎ | | | | |
| | 11 | Lesson 8 | さまざまな不定詞、副詞的表現とその位置 テディベアの生みの親のハンデを乗り越えて生きた女性の物語を読む。 | | | ◎ | ○ | | |
| | | The Story of the Teddy Bear | 仮定法構文ネットワーク 省略、thereを用いた表現 | ○ | ◎ | | | | |
| | | 期末考査(11/29~12/3) | | | ○ | ○ | ◎ | | |
| | 12 | Lesson 9 | 笑うことのメリットを科学、心理学、社会学的な観点から考察する。 | ◎ | | | ○ | | |
| Laughter is the Best Medicine | | 名詞節ネットワーク S+seem to ~/ It seems that節 | | ◎ | | ○ | | | |
| 冬季 | | 冬季休業日(12/21~1/6) | | | ○ | ◎ | | | |
| 三学期 | 1 | Reading 2 | 直接話法 目は見えないが、他の感覚によって物を知覚しているアンバー。興味本位で話しかけたカイルは、しだいにアンバーの持っている感覚を理解していく。 | ○ | ◎ | | | 評価方法 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」、「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点で評価します。主に、授業への取組、定期考査、提出物により評価します。学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 | |
| | | Humming Through My Fingers | | ◎ | | ○ | | | |
| | 2 | Lesson 10 | ナチスによる迫害を受けたユダヤ人が作った手作り新聞を読む。 | | | ◎ | | | |
| | | The Underground Reporters | 接続詞ネットワーク | | ○ | ○ | ◎ | | |
| | 3 | 学年末考査4・5年(2/21~2/28) | | | ◎ | ○ | | | |
| | Review, Workshop | suggest that + SV~, be to do ~ | | | ○ | ◎ | 備考 | | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|--------------|----|----|----|----------|-----|---|----|
| 教科 | 外国語 | 科目 | コミュニケーション英語Ⅱ | 学年 | 5年 | 類型 | グローバル理科系 | 単位数 | 3 | 単位 |
|----|-----|----|--------------|----|----|----|----------|-----|---|----|

| | | | |
|------|---|------|------|
| 教科書名 | PRO-VISION English Communication II New Edition | 出版社名 | 桐原書店 |
|------|---|------|------|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 | | |
|---------------------|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|
| | | 単元 | 内容 | 関 | 表 | 理 | 知 | | | |
| 一学期 | 4 | Lesson 1 The Freedom to Be Yourself | 自由に生きるとはどういうことか。多文化共生社会をどのように生きるか。 過去を回想して語る表現、過去の習慣would 過去分詞で始まる分詞構文 | ○ | ◎ | ○ | ○ | 授業の概要 コミュニケーション英語Ⅰの内容を踏まえ、読む、聞く、話す、書くの4技能をさらに向上させることを目指します。エッセイや評論といった新しいタイプの英文にも取り組み、情報や考えなどについて、討論をして結論をまとめたり、まとまりのある英文を書いたりする活動を行います。 | | |
| | | Lesson 2 Are You Really a Sloth? | 西洋社会から怠惰というレッテルを張られたナマケモノの生態を知る。 現在のことについて語る表現ネットワーク 助動詞+have+過去分詞、完了形分詞構文 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | 中間考査(5/18~5/21) | | ○ | ○ | ◎ | | | | |
| | | Lesson 3 Mount Fuji-The Eternal Mountain | 世界遺産に登録された富士山を今後どう守っていくか考える。 未来を展望して語る表現ネットワーク 無生物主語の構文、結果をあらわす不定詞 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | 6 | Lesson 4 Handwriting in the Digital Age | 手書きならではのメリットを知り、その意義を考える。 形容詞の叙述用法ネットワーク、倒置、前置詞+関係詞 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | 学習の到達目標 | |
| | | 期末考査(6/28~7/2) | | ○ | ○ | ◎ | ○ | | 積極的に英語でコミュニケーションを図ることができる。 速読や精読など、目的にあった読み方ができる。 ・学んだことに基づき、話し合うなどしてまとめることができる。 ・学んだことに基づき、まとまりのある英文を書くことができる。 | |
| | 7 | Lesson 5 Designed to Change the World | デザインのおかげで、開発途上国の人々の暮らしを変える取組を知る。 後置修飾ネットワーク 関係副詞の非制限用法、wh+ever | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | 夏季休業日(7/21~8/24) | | | | | | | | |
| | 二学期 | 8 | Reading 1 The Love Letter | 1882年に書かれた一通のラブレター。80年の時を越えた恋物語。 | ○ | ◎ | ○ | | ○ | 評価の観点 |
| | | | Lesson 6 The First Olympics | 古代オリンピックの歴史を学び、現代オリンピックのあり方を問う。 否定構文ネットワーク | ◎ | ○ | ○ | | ○ | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションへの関心を持ち、積極的に活動してコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 中間考査5年(9/28~10/1) | | | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | | |
| 中間考査4・6年(10/5~10/8) | | | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | | |
| 10 | | Lesson 7 The Dark, Mysterious Universe Deep under the Ocean | 挿入、with+名詞+~ 深海生物について知り、宇宙生命の存在の可能性を探る。 比較構文ネットワーク | ○ | ◎ | ○ | ○ | 外国語表現の能力 外国語で話したり書いたりして、情報や考えを的確に表現している。 | | |
| | | Lesson 8 The Story of the Teddy Bear | さまざまな不定詞、副詞的表現とその位置 テディベアの生みの親のハンデを乗り越えて生きた女性の物語を読む。 仮定法構文ネットワーク 省略、thereを用いた表現 | ○ | ◎ | ○ | ○ | 外国語理解の能力 外国語で聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解している。 | | |
| 期末考査(11/29~12/3) | | | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | | |
| 12 | | Lesson 9 Laughter is the Best Medicine | 笑うことのメリットを科学、心理学、社会学的な観点から考察する。 名詞節ネットワーク S+seem to ~/ It seems that節 | ◎ | ○ | ○ | ○ | 言語や文化についての知識・理解 言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 | | |
| | | 冬季休業日(12/21~1/6) | | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| 三学期 | | 1 | Reading 2 Humming Through My Fingers | 直接話法 目は見えないが、他の感覚によって物を知覚しているアンパー。興味本位で話しかけたカイルは、しだいにアンパーの持っている感覚を理解していく。 | ○ | ◎ | ○ | ○ | 評価方法 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」、「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点で評価します。主に、授業への取組、定期考査、提出物により評価します。学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 | |
| | Lesson 10 The Underground Reporters | | ナチスによる迫害を受けたユダヤ人が作った手作り新聞を読む。 接続詞ネットワーク | ○ | ○ | ◎ | ○ | 備考 | | |
| | 学年末考査4・5年(2/21~2/28) | | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | 3 | Review, Workshop | suggest that + SV~, be to do ~ | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-------|----|-----|----|----------|-----|---|----|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 英語表現Ⅱ | 学年 | 5 年 | 類型 | グローバル文科系 | 単位数 | 2 | 単位 |
|----|-----|----|-------|----|-----|----|----------|-----|---|----|

| | | | |
|------|---|------|-----|
| 教科書名 | CROWN English Expression II New Edition | 出版社名 | 三省堂 |
|------|---|------|-----|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 |
|-------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------|-------|---|---|---|---|
| | | 単元 | 内容 | 関 | 表 | 理 | 知 | |
| 一 学 期 | 4 | Part 1 Lesson1 英語の外来語[言語] | 時制・助動詞・受動態 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | 授業の概要 情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して言語活動を行います。発表の仕方や討論のルール、それらの活動のために必要な表現などを学習し、実際に活用します。聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えを論理的にまとめたりします。 |
| | | Lesson2 インスタントラーメン | 不定詞・動名詞・分詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson3 フェルメール | 比較・関係詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson4 宇宙エレベーター | 仮定法・接続詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 5 | Lesson5 南極 | 疑問詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson6 手塚治虫 | 否定 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | 中間考査(5/18～5/21) | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | | Lesson7 フード・ロス | 特殊構文 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 6 | Lesson8 キューバ | 名詞・冠詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson9 地雷除去ネズミ | 代名詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson10 人生で会おうべき3人 | 形容詞・副詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Part2 Lesson1 ジョン万次郎の手紙 | 感情を表す表現 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 7 | 期末考査(6/28～7/2) | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | | Lesson2 スヌーピーの気持ち | 希望/依頼/許可 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| パラグラフライティングに向けて① | | パラグラフの構成 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | | |
| Lesson3 カズオ・イシグロの『日の名残』 | | 理由/目的/結果 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | | |
| 夏季 | | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | | |
| 二 学 期 | 8 | Lesson4 小笠原の自然を知ろう | 忠告/必要/提案 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | 評価の観点 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。 |
| | | パラグラフライティングに向けて② | 例示・追加 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson5 ナスカの地上絵 | 時間的順序 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson6 アンネ・フランクの隠れ家 | 空間配列・方向 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 9 | パラグラフライティングに向けて③ | 順序・列挙分類 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | 中間考査5年(9/28～10/1) | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | | 中間考査4・6年(10/5～10/8) | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | | Lesson7 納豆のおいしい食べ方 | 方法・様態/数量 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 10 | Lesson8 英語以外の外国語 | 賛成・反対 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | パラグラフライティングに向けて④ | 比較・対照 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson9 Life is X + Y | 例証/比較・対照/譲歩 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson10 スローフード | 要約 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 11 | パラグラフライティングに向けて⑤ | 原因・結果 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Part3 Speaking1 Speech/presentation | スピーチ・プレゼンテーション | ○ | ◎ | ◎ | ○ | |
| 期末考査(11/29～12/3) | | | | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| Speaking 2 Bouldering | | スピーチ(紹介) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| 12 | Speaking3 Are They Just Like Us? | スピーチ(主張) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | | | |
| | Speaking4 Vietnam | プレゼンテーション(紹介) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| | Speaking5 International Students | プレゼンテーション(説明、報告) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| 三 学 期 | 1 | Speaking6 Discussion | ディスカッション(主張、賛成・反対) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 |
| | | 学年末考査4・5年(2/21～2/28) | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | | Speaking6 Discussion | ディスカッション(主張、賛成・反対) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | |
| | 2 | 準備 | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| 3 | | Speaking6 Discussion | ディスカッション(主張、賛成・反対) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-------|----|----|----|----------|-----|---|----|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 英語表現Ⅱ | 学年 | 5年 | 類型 | グローバル理科系 | 単位数 | 2 | 単位 |
|----|-----|----|-------|----|----|----|----------|-----|---|----|

| | | | |
|------|---|------|-----|
| 教科書名 | CROWN English Expression II New Edition | 出版社名 | 三省堂 |
|------|---|------|-----|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 |
|----------------------|-------------------------------------|----------------------------------|------------------|-------|---|---|---|---|
| | | 単元 | 内容 | 関 | 表 | 理 | 知 | |
| 一学期 | 4 | Part 1 Lesson1 英語の外来語[言語] | 時制・助動詞・受動態 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | <p style="text-align: center;">授業の概要</p> <p>情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して言語活動を行います。発表の仕方や討論のルール、それらの活動のために必要な表現などを学習し、実際に活用します。聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えを論理的にまとめたりします。</p> <p style="text-align: center;">学習の到達目標</p> <p>・英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ることができる。 ・事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えることができる。 ・具体的には、基礎的な単語、熟語、構文を学習してその定着を図り、それらを運用できる。</p> |
| | | Lesson2 インスタントラーメン | 不定詞・動名詞・分詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson3 フェルメール | 比較・関係詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson4 宇宙エレベーター | 仮定法・接続詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 5 | Lesson5 南極 | 疑問詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson6 手塚治虫 | 否定 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | 中間考査(5/18～5/21) | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | | Lesson7 フード・ロス | 特殊構文 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 6 | Lesson8 キューバ | 名詞・冠詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson9 地雷除去ネズミ | 代名詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson10 人生で会おうべき3人 | 形容詞・副詞 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Part2 Lesson1 ジョン万次郎の手紙 | 感情を表す表現 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| 7 | 期末考査(6/28～7/2) | | | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| | Lesson2 スヌーピーの気持ち | 希望/依頼/許可 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | | |
| | パラグラフライティングに向けて① | パラグラフの構成 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | | |
| | Lesson3 カズオ・イシグロの『日の名残』 | 理由/目的/結果 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | | |
| 夏季 | | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | | |
| 二学期 | 8 | Lesson4 小笠原の自然を知ろう | 忠告/必要/提案 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | <p style="text-align: center;">評価の観点</p> <p>コミュニケーションへの関心・意欲・態度</p> <p>コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p style="text-align: center;">外国語表現の能力</p> <p>外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。</p> <p style="text-align: center;">外国語理解の能力</p> <p>外国語で聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。</p> <p style="text-align: center;">言語や文化についての知識・理解</p> <p>外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。</p> |
| | | パラグラフライティングに向けて② | 例示・追加 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson5 ナスカの地上絵 | 時間的順序 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson6 アンネ・フランクの隠れ家 | 空間配列・方向 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 9 | パラグラフライティングに向けて③ | 順序・列挙分類 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | 中間考査5年(9/28～10/1) | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | | 中間考査4・6年(10/5～10/8) | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | | Lesson7 納豆のおいしい食べ方 | 方法・様態/数量 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 10 | Lesson8 英語以外の外国語 | 賛成・反対 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | パラグラフライティングに向けて④ | 比較・対照 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson9 Life is X + Y | 例証/比較・対照/譲歩 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | Lesson10 スローフード | 要約 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| 11 | パラグラフライティングに向けて⑤ | 原因・結果 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | | |
| | Part3 Speaking1 Speech/presentation | スピーチ・プレゼンテーション | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| | 期末考査(11/29～12/3) | | | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| | Speaking 2 Bouldering | スピーチ(紹介) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| 12 | Speaking3 Are They Just Like Us? | スピーチ(主張) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | | | |
| | Speaking4 Vietnam | プレゼンテーション(紹介) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| | 1 | Speaking5 International Students | プレゼンテーション(説明、報告) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | |
| Speaking6 Discussion | | ディスカッション(主張、賛成・反対) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| | | | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| 学年末考査4・5年(2/21～2/28) | | | ◎ | ◎ | ◎ | | | |
| 2 | Speaking6 Discussion | ディスカッション(主張、賛成・反対) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| | | | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| 3 | Speaking6 Discussion | ディスカッション(主張、賛成・反対) | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| | | | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----------|----|------------|----|-----|----|----------|-----|---|----|
| 教科 | グローバル・スキル | 科目 | グローバル・スキルⅡ | 学年 | 5 年 | 類型 | グローバル文科系 | 単位数 | 1 | 単位 |
|----|-----------|----|------------|----|-----|----|----------|-----|---|----|

| | | | |
|------|-----------|------|----------------|
| 教科書名 | グローバル・スキル | 出版社名 | 愛媛県立宇和島南中等教育学校 |
|------|-----------|------|----------------|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 | | |
|-----------------|----------------------|-------------------|---------------------|--|---|---|---|---|--|---|
| | | 単元 | 内容 | 関 | 表 | 理 | 知 | | | |
| 一学期 | 4 | 英語スピーチ演習(1) | 情報の収集と準備 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 授業の概要 スピーチ・プレゼンテーション・ディベート等の方法を、日本語に加え英語を交え体験的に学ぶことで、コミュニケーション力を高めます。英語の実践的運用能力を育成する活動や、コミュニケーション力・知識・語学力・思考力を統合して育成する活動を行います。 | | |
| | | | 草案作成 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | | スピーチ演習 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | | | |
| | | | | ○ | ◎ | ○ | ◎ | | | |
| | 5 | 中間考査(5/18～5/21) | | | ◎ | ◎ | ○ | | | |
| | | | 英会話演習 | 即興でのやり取りの実際、Social conversationについての導入 | ◎ | ◎ | ○ | | ○ | |
| | 6 | | 即興での英会話演習 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | | 学習の到達目標 積極的に英語でコミュニケーションを図ることができる。 英語の実践的運用能力を身に付けることができる。 コミュニケーション力・知識・語学力・思考力を統合して身に付けることができる。 | |
| 即興でのスピーチ演習 | | | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | | |
| 即興での要約トレーニング | | | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | | | |
| 7 | 期末考査(6/28～7/2) | | | | ◎ | ◎ | ○ | | | |
| | | エッセイライティング演習 | テーマの決定と資料収集 | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | エッセイライティング演習 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | | | | |
| 夏季 | | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | | | | |
| 二学期 | 8 | 英語ディベート演習(1) | アカデミックディベートの導入 | ○ | ◎ | ○ | ○ | 評価の観点 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | | |
| | | | 資料の収集と立論作成演習 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | | 質疑・アタックスピーチ演習 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | 9 | | ディフェンススピーチ演習 | ○ | ◎ | ○ | ○ | コミュニケーションへの関心を持ち、積極的に活動してコミュニケーションを図ろうとしている。 | | |
| | | | ジャッジの基本理論の導入と演習 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | 10 | 中間考査5年(9/28～10/1) | | | | ◎ | ◎ | ○ | 外国語表現の能力 外国語で話したり書いたりして、情報や考えを的確に表現している。 | |
| | | | 中間考査4・6年(10/5～10/8) | | | | ◎ | ◎ | | ○ |
| | | | GTECに向けた準備 | 過去問題を用いた演習 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | | |
| | 11 | | スピーキングセッション対策 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | 外国語理解の能力 外国語で聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解している。 | | |
| | | | ライティングセッション対策 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | | | |
| | | | 英語ディベート演習(2) | 即興ディベートの導入 | ○ | ◎ | ◎ | | ○ | |
| | 12 | 期末考査(11/29～12/3) | 質疑・アタックスピーチ演習 | ○ | ◎ | ◎ | ○ | 言語や文化についての知識・理解 言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 | | |
| ディフェンススピーチ演習 | | | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | | | |
| ジャッジの基本理論の導入と演習 | | | ○ | ○ | ◎ | ◎ | | | | |
| 冬季 | | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | | | | |
| 三学期 | 1 | 英語スピーチ演習(2) | 立論作成演習 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | 評価方法 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」、「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点で評価します。主に、授業への取組、定期考査、提出物により評価します。学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 | | |
| | | | ディベート演習(試合形式) | ◎ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | | スピーチ・ディベート活動のまとめ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | | |
| | 2 | | スピーチ演習 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 備考 | | |
| | | | ビデオレターの作成 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| 3 | 学年末考査4・5年(2/21～2/28) | | | | ◎ | ◎ | ○ | | | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----------|----|------------|----|-----|----|----------|-----|---|----|
| 教科 | グローバル・スキル | 科目 | グローバル・スキルⅡ | 学年 | 5 年 | 類型 | グローバル理科系 | 単位数 | 1 | 単位 |
|----|-----------|----|------------|----|-----|----|----------|-----|---|----|

| | | | |
|------|-----------|------|----------------|
| 教科書名 | グローバル・スキル | 出版社名 | 愛媛県立宇和島南中等教育学校 |
|------|-----------|------|----------------|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 |
|--------------|----------------------|---------------------|--|-------|---|---|--|---|
| | | 単元 | 内容 | 関 | 表 | 理 | 知 | |
| 一 学 期 | 4 | 英語スピーチ演習(1) | 情報の収集と準備 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 授業の概要 スピーチ・プレゼンテーション・ディベート等の方法を、日本語に加え英語を交え体験的に学ぶことで、コミュニケーション力を高めます。英語の実践的運用能力を育成する活動や、コミュニケーション力・知識・語学力・思考力を統合して育成する活動を行います。 |
| | | | 草案作成 | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| | | | スピーチ演習 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | | | | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 5 | 中間考査(5/18～5/21) | | | ◎ | ◎ | ○ | |
| | 6 | 英会話演習 | 即興でのやり取りの実際、Social conversationについての導入 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | |
| | | | 即興での英会話演習 | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| 即興でのスピーチ演習 | | | ○ | ◎ | ○ | ○ | | |
| | | 即興での要約トレーニング | ○ | ◎ | ◎ | ○ | 学習の到達目標 | |
| | | 期末考査(6/28～7/2) | | ◎ | ◎ | ○ | 積極的に英語でコミュニケーションを図ることができる。 ・英語の実践的運用能力を身に付けることができる。 | |
| 7 | エッセイライティング演習 | テーマの決定と資料収集 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ・コミュニケーション力・知識・語学力・思考力を統合して身に付けることができる。 | |
| | | エッセイライティング演習 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | |
| 夏季 | | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | | |
| 二 学 期 | 8 | 英語ディベート演習(1) | アカデミックディベートの導入 | ○ | ◎ | ○ | ○ | 評価の観点 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションへの関心を持ち、積極的に活動してコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| | | | 資料の収集と立論作成演習 | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| | | | 質疑・アタックススピーチ演習 | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| | 9 | | ディフェンススピーチ演習 | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| | | | ジャッジの基本理論の導入と演習 | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| | | 中間考査5年(9/28～10/1) | | | ◎ | ◎ | ○ | |
| | | 中間考査4・6年(10/5～10/8) | | | ◎ | ◎ | ○ | |
| | 10 | GTECに向けた準備 | 過去問題を用いた演習 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | 外国語表現の能力 |
| | | | スピーキングセッション対策 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | 外国語で話したり書いたりして、情報や考えを的確に表現している。 |
| | | | ライティングセッション対策 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | |
| | 11 | 英語ディベート演習(2) | 即興ディベートの導入 | ○ | ◎ | ◎ | ○ | 外国語理解の能力 |
| | | | 質疑・アタックススピーチ演習 | ○ | ◎ | ◎ | ○ | 外国語で聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解している。 |
| ディフェンススピーチ演習 | | | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| | 期末考査(11/29～12/3) | | | ◎ | ◎ | ○ | | |
| 12 | | ジャッジの基本理論の導入と演習 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | 言語や文化についての知識・理解 | |
| | | 準備とリサーチ活動 | ◎ | ○ | ○ | ○ | 言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 | |
| 冬季 | | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | | |
| 三 学 期 | 1 | 英語スピーチ演習(2) | 立論作成演習 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | 評価方法 |
| | | | ディベート演習(試合形式) | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」、「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点で評価します。主に、授業への取組、定期考査、提出物により評価します。学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 |
| | | | スピーチ・ディベート活動のまとめ | ○ | ○ | ○ | ◎ | |
| | | | スピーチ演習 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | |
| | 2 | | ビデオレターの作成 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 備考 |
| | 学年末考査4・5年(2/21～2/28) | | | ◎ | ◎ | ○ | | |
| 3 | | | | ◎ | ◎ | ○ | ○ | |

シ ラ バ ス 令和3年度

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|--------------|----|----|----|----------|-----|---|----|
| 教科 | 外国語 | 科目 | コミュニケーション英語Ⅲ | 学年 | 6年 | 類型 | グローバル文科系 | 単位数 | 4 | 単位 |
|----|-----|----|--------------|----|----|----|----------|-----|---|----|

| | | | |
|------|---|------|-----|
| 教科書名 | MAINSTREAM ENGLISH COMMUNICATION III Second Edition Strategic Reading Focus Advanced | 出版社名 | 増進堂 |
|------|---|------|-----|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 | |
|-----------|------------------|---|--|-------|---|---|--|---|---|
| | | 単元 | 内容 | 関 | 表 | 理 | 知 | | |
| 一学期 | 4 | Skill ① | ・英文の意味をフレーズごとのまとめでつかませる。・適切な位置にスラッシュを入れさせる。 | ○ | ◎ | ○ | 授業の概要 様々な話題に関する英文を聞いたり読んだりして、情報や話し手(書き手)の意向を理解したり、概要や要点をとらえたりすることを指します。また、聞いたり読んだりして得た情報について英語で話し合ったり、自分の考えを英語で表現したりする力を養います。 | | |
| | | Skill ② | ・冠詞の変化や代名詞などへの言い換えやディスコースマーカ―を意識して読ませる。 | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | | Skill ③ | ・文の展開を予測しながら読ませる。・未知語を推測しながら読ませる。 | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | | Skill ④ | ・パラグラフ構成を意識して読ませる。・トピック・センテンスがどこにあるのかを把握させる。 | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | | Skill ⑤ | ・時間的順序の表現を意識して読ませる。・時間を示すディスコースマーカ―を把握させる。 | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | 5 | Chapter 1 | ・柔道の創始者である嘉納治五郎の生涯とその功績を、時系列を辿って理解させる。 ・時間的順序のディスコースマーカ―を意識して読ませる。 | ○ | ○ | ◎ | | ○ | |
| | | 中間考査(5/18～5/21) | | | ○ | ◎ | | ○ | |
| | 6 | Skill ⑥ | ・例示・列挙・新情報の追加の表現を意識して読ませる。 | ○ | ◎ | ○ | | 学習の到達目標 ・事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 ・説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をすることができる。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行うことができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめることができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことができる。 | |
| | | Chapter 2 | ・マイクロファイナンスの仕組みを把握させ、その取り組みの具体例と成果を読み取らせる。 ・例示・列挙・新情報の追加のディスコースマーカ―を意識して読ませる。 | ○ | ○ | ◎ | | | ○ |
| | | Skill ⑦ | ・言い換え、要約・結論の表現を意識して読ませる。 ・それぞれのディスコースマーカ―と、その後続く内容を把握させる。 | ○ | ◎ | ○ | | | ○ |
| Chapter 3 | | ・モナ・リザが有名な絵となった経緯を把握させる。 ・言い換え、要約・結論のディスコースマーカ―を意識して読ませる。 ・原因・理由と結果の表現をつかませる。 ・それぞれのディスコースマーカ―と、その後続く内容を把握させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| 7 | 期末考査(6/28～7/2) | | | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | Chapter 4 | ・どうして地球上で使える水が0.08%しかないのか、その解決方法としてどのようなことを提言しているのかを読み取らせる。 ・逆接・対比の表現をつかませる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | Skill ⑨ | ・それぞれのディスコースマーカ―と、その後続く内容を把握させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | Chapter 5 | ・日本とフィンランドの税制の違いを読み取らせて、それぞれの特徴を考えさせる。 ・逆接・対比のディスコースマーカ―を意識して読ませる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | | | | |
| 二学期 | 8 | Skill ⑩ | ・スキミングとスキミングのスキルを身につけさせる。 | ○ | ◎ | ○ | 評価の観点 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | | |
| | | Chapter 6 | ・どうして著者は地球をLucky Planetと呼んでいるのか、他の星と比較してその理由を把握させる。 ・スキミングをさせて大意を素早く読み取らせる。 | ○ | ○ | ◎ | | ○ | |
| | 9 | Chapter 7 | ・世界人口がどのように変遷しているのかを読み取らせる。 ・グラフの数字を把握しながら英文の内容を理解させる。 | ○ | ◎ | ○ | 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 | | |
| | | Chapter 8 | ・登場人物の心情や行動の原因と理由を把握させ、最終的に話がどのような流れになっているのかを理解させる。 | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | | Chapter 9 | ・三人の生徒が主張している内容を把握させ、それぞれの意見の違いを理解させる。 | ○ | ○ | ◎ | | ○ | |
| | 10 | Chapter 10(中間考査5年9/28～10/1) | ・東京スカイツリーがどのような建築物かを把握させ、そのデザインに込められた意味や機能について理解させる。 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | |
| | | 中間考査4・6年(10/5～10/8) | | | ○ | ◎ | ○ | | |
| | | Chapter 11 | ・人はどの程度の頻度でうそをついているのかを理解させ、うその仕組みを説明する実験の内容とその結果を把握させる。 ・Exerciseで紹介されている語や文法事項を理解させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | |
| | | Chapter 12 | ・江戸の町ではどのような仕組みを持ち、どうして世界のどの都市よりもきれいだっただのかを把握させる。 ・筆者の主張を読み取らせる。 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | |
| | | Chapter 13 | ・蝶がどのようにして生き残ってきたのか、それを説明する実験と結果を読み取り、最初に投げかけられた疑問をどのように結論づけているかを把握させる。 ・Exerciseで紹介されている語や文法事項を理解させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | |
| 11 | Chapter 14 | ・最初の問いかけを確実に把握させた上で、中国にガラスが根付かなかった理由と、ガラス文化が栄えた西洋でどのようなことが起きたのかを読み取らせ、現在の中国はどうなっているかを理解させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | 期末考査(11/29～12/3) | | | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | Chapter 15 | ・電子書籍と紙の本を比較して、両者にどのような特徴があり、今後両者はどのように使われていくと筆者が考えているのかを読み取らせる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| 12 | Chapter 16 | ・未知語は文脈から意味を想像させる。 ・コストリカが行った数々の環境政策を把握させ、政府の狙いと実際の効果を読み取らせる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | | | | |
| 三学期 | 1 | Chapter 17 | ・フェアトレードの概要を把握させ、どのような問題解決の糸口となっているのか、また実際にフェアトレードを行っている人々はどのように思っているのかを読み取らせ、筆者は消費者がどのような行動をすれば良いと考えているかを理解させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | |
| | | Chapter 18 | ・iPS細胞の概要を理解させ、それに対する山中教授の考えを把握させる。 ・山中教授のスピーチ文を読みませ、VとWはどのような意味なのかを理解させる。その上で山中教授がスピーチで伝えたかった内容を把握させる。 ・未知語は文脈から意味を想像させる。 ・Exerciseで紹介されている語や文法事項を理解させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | |
| | 2 | <家庭学習> | | | ○ | ◎ | ○ | 評価方法 学習の状況は、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」「外国語表現」「外国語理解」「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点で評価します。具体的には、「出席」「授業態度・取り組み方」「定期考査」「提出物(課題やノート)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 | |
| | | 備考 | | | ○ | ◎ | ○ | | |
| | | 学年末考査4・5年(2/21～2/28) | | | ○ | ◎ | ○ | | |
| 3 | | | | | ○ | ◎ | ○ | | |

シ ラ バ ス 令和3年度

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|--------------|----|----|----|----------|-----|---|----|
| 教科 | 外国語 | 科目 | コミュニケーション英語Ⅲ | 学年 | 6年 | 類型 | グローバル理科系 | 単位数 | 4 | 単位 |
|----|-----|----|--------------|----|----|----|----------|-----|---|----|

| | | | |
|------|---|------|-----|
| 教科書名 | MAINSTREAM ENGLISH COMMUNICATION III Second Edition Strategic Reading Focus Advanced | 出版社名 | 増進堂 |
|------|---|------|-----|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 | |
|------------|------------------|---|--|-------|---|---|---|---|---|
| | | 単元 | 内容 | 関 | 表 | 理 | 知 | | |
| 一学期 | 4 | Skill ① | ・英文の意味をフレーズごとのまとめでつかませる。・適切な位置にスラッシュを入れさせる。 | ○ | ◎ | ○ | 授業の概要 様々な話題に関する英文を聞いたり読んだりして、情報や話し手(書き手)の意向を理解したり、概要や要点をとらえたりすることを指します。また、聞いたり読んだりして得た情報について英語で話し合ったり、自分の考えを英語で表現したりする力を養います。 | | |
| | | Skill ② | ・冠詞の変化や代名詞などへの言い換えやディスコースマーカ―を意識して読ませる。 | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | | Skill ③ | ・文の展開を予測しながら読ませる。・未知語を推測しながら読ませる。 | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | | Skill ④ | ・パラグラフ構成を意識して読ませる。・トピック・センテンスがどこにあるのかを把握させる。 | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | | Skill ⑤ | ・時間的順序の表現を意識して読ませる。・時間を示すディスコースマーカ―を把握させる。 | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | 5 | Chapter 1 | ・柔道の創始者である嘉納治五郎の生涯とその功績を、時系列を辿って理解させる。 ・時間的順序のディスコースマーカ―を意識して読ませる。 | ○ | ○ | ◎ | | ○ | |
| | | 中間考査(5/18～5/21) | | | ○ | ◎ | | ○ | |
| | 6 | Skill ⑥ | ・例示・列挙・新情報の追加の表現を意識して読ませる。 | ○ | ◎ | ○ | | 学習の到達目標 ・事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 ・説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をすることができる。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行うことができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめることができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことができる。 | |
| | | Chapter 2 | ・マイクロファイナンスの仕組みを把握させ、その取り組みの具体例と成果を読み取らせる。 ・例示・列挙・新情報の追加のディスコースマーカ―を意識して読ませる。 | ○ | ○ | ◎ | | | ○ |
| | | Skill ⑦ | ・言い換え、要約・結論の表現を意識して読ませる。 ・それぞれのディスコースマーカ―と、その後続く内容を把握させる。 | ○ | ◎ | ○ | | | ○ |
| Chapter 3 | | ・モナ・リザが有名な絵となった経緯を把握させる。 ・言い換え、要約・結論のディスコースマーカ―を意識して読ませる。 ・原因・理由と結果の表現をつかませる。 ・それぞれのディスコースマーカ―と、その後続く内容を把握させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| 7 | 期末考査(6/28～7/2) | | | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | Chapter 4 | ・どうして地球上で使える水が0.08%しかないのか、その解決方法としてどのようなことを提言しているのかを読み取らせる。 ・逆接・対比の表現をつかませる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | Skill ⑧ | ・それぞれのディスコースマーカ―と、その後続く内容を把握させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | Chapter 5 | ・日本とフィンランドの税制の違いを読み取らせて、それぞれの特徴を考えさせる。 ・逆接・対比のディスコースマーカ―を意識して読ませる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | | | | |
| 二学期 | 8 | Skill ⑩ | ・スキミングとスキミングのスキルを身につけさせる。 | ○ | ◎ | ○ | 評価の観点 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | | |
| | | Chapter 6 | ・どうして著者は地球をLucky Planetと呼んでいるのか、他の星と比較してその理由を把握させる。 ・スキミングをさせて大意を素早く読み取らせる。 | ○ | ○ | ◎ | | ○ | |
| | 9 | Chapter 7 | ・世界人口がどのように変遷しているのかを読み取らせる。 ・グラフの数字を把握しながら英文の内容を理解させる。 | ○ | ◎ | ○ | 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 | | |
| | | Chapter 8 | ・登場人物の心情や行動の原因と理由を把握させ、最終的に話がどのような流れになっているのかを理解させる。 | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | | Chapter 9 | ・三人の生徒が主張している内容を把握させ、それぞれの意見の違いを理解させる。 | ○ | ○ | ◎ | | | |
| | 10 | Chapter 10(中間考査5年9/28～10/1) | ・東京スカイツリーがどのような建築物かを把握させ、そのデザインに込められた意味や機能について理解させる。 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | |
| | | 中間考査4・6年(10/5～10/8) | | | ○ | ◎ | ○ | | |
| | | Chapter 11 | ・人はどの程度の頻度でうそをついているのかを理解させ、うその仕組みを説明する実験の内容とその結果を把握させる。 ・Exerciseで紹介されている語や文法事項を理解させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | |
| | | Chapter 12 | ・江戸の町ではどのような仕組みを持ち、どうして世界のどの都市よりもきれいだっただのかを把握させる。 ・筆者の主張を読み取らせる。 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | |
| | 11 | Chapter 13 | ・蝶がどのようにして生き残ってきたのか、それを説明する実験と結果を読み取り、最初に投げかけられた疑問をどのように結論づけているのかを把握させる。 ・Exerciseで紹介されている語や文法事項を理解させる。 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | |
| Chapter 14 | | ・最初の問いかけを確実に把握させた上で、中国にガラスが根付かなかった理由と、ガラス文化が栄えた西洋でどのようなことが起きたのかを読み取らせ、現在の中国はどうなっているかを理解させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| 12 | 期末考査(11/29～12/3) | | | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | Chapter 15 | ・電子書籍と紙の本を比較して、両者にどのような特徴があり、今後両者はどのように使われていくと筆者が考えているのかを読み取らせる。 ・未知語は文脈から意味を想像させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | Chapter 16 | ・コストリカが行った数々の環境政策を把握させ、政府の狙いと実際の効果を読み取らせる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | | | | |
| 三学期 | 1 | Chapter 17 | ・フェアトレードの概要を把握させ、どのような問題解決の糸口となっているのか、また実際にフェアトレードを行っている人々はどのように思っているのかを読み取らせ、筆者は消費者がどのような行動をすれば良いと考えているかを理解させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | |
| | | Chapter 18 | ・IPS細胞の概要を理解させ、それに対する山中教授の考えを把握させる。 ・山中教授のスピーチ文を読みませ、VとWはどのような意味なのかを理解させる。その上で山中教授がスピーチで伝えたかった内容を把握させる。 ・未知語は文脈から意味を想像させる。 ・Exerciseで紹介されている語や文法事項を理解させる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | |
| | 2 | <家庭学習> | | ○ | ◎ | ○ | 評価方法 学習の状況は、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」「外国語表現」「外国語理解」「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点で評価します。具体的には、「出席」「授業態度・取り組み方」「定期考査」「提出物(課題やノート)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 | | |
| | | 学年末考査4・5年(2/21～2/28) | | | ○ | ◎ | | ○ | |
| 3 | | | | ○ | ◎ | ○ | 備考 | | |
| | | | | | ○ | ◎ | | ○ | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-------|----|----|----|----------|-----|---|----|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 英語表現Ⅱ | 学年 | 6年 | 類型 | グローバル文科系 | 単位数 | 2 | 単位 |
|----|-----|----|-------|----|----|----|----------|-----|---|----|

| | | | |
|------|--------------------------------|------|------|
| 教科書名 | DUALSCOPE English Expression Ⅱ | 出版社名 | 数研出版 |
|------|--------------------------------|------|------|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 |
|---------|----|-----------------------|-----------------------|-------|---|---|---|---|
| | | 単元 | 内容 | 関 | 表 | 理 | 知 | |
| 一学期 | 4 | UNIT 9 | 文型 | | ○ | ○ | ○ | 授業の概要 情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して言語活動を行います。発表の仕方や討論のルール、それらの活動のために必要な表現などを学習し、実際に活用します。聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えを論理的にまとめたりします。 |
| | | UNIT 10 | 使役動詞/知覚動詞 | ◎ | ○ | | | |
| | | UNIT 11 | 分詞/不定詞/同格 | ◎ | ○ | | | |
| | | UNIT 12 | 関係詞の制限用法 | ◎ | ○ | | | |
| | 5 | UNIT 13 | 関係詞の非制限用法/複合関係詞 | | | ◎ | ○ | |
| | | 中間考査(5/18～5/21) | | | ○ | | ◎ | |
| | | EXTRA UNIT 1 | 名詞 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 6 | EXTRA UNIT 2 | 冠詞 | | ○ | ○ | | |
| | | EXTRA UNIT 3 | 形容詞 | ◎ | ○ | ○ | | |
| | | BONUS UNIT | 前置詞 | | ○ | ○ | ○ | |
| | 7 | Tips for Expression ① | Japanese English | ◎ | ○ | ○ | | |
| | | 期末考査(6/28～7/2) | | | ○ | ○ | ◎ | |
| | | UNIT 14 | 目的の表現/夢・目標 | ◎ | ○ | | | |
| | | UNIT 15 | 程度・結果の表現/学校生活 | ◎ | ○ | | | |
| UNIT 16 | | 原因・理由の表現/興味・関心 | ◎ | ○ | | | | |
| 夏季 | | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | | |
| 二学期 | 8 | UNIT 17 | 譲歩の表現/社会・福祉 | ◎ | ○ | | | |
| | | UNIT 18 | 比較の表現①/技術・文明 | ◎ | ○ | | | |
| | | UNIT 19 | 比較の表現②/日本文化・国際理解 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | 9 | UNIT 20 | 条件・家庭の表現/言語・コミュニケーション | | ◎ | ○ | | |
| | | UNIT 21 | 否定の表現/自然・環境 | | ○ | ○ | ○ | |
| | 10 | 中間考査5年(9/28～10/1) | | | ◎ | ○ | | |
| | | 中間考査4・6年(10/5～10/8) | | | ◎ | ○ | | |
| | | Tips for Expression ② | Words to Note | | ◎ | ○ | ○ | |
| | | UNIT 22 | パラグラフの構成・つながり表現 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | 11 | UNIT 23 | 列挙・時間的順序 | | ◎ | ○ | | |
| | | UNIT 24 | 追加・言い換え | | ◎ | ○ | ○ | |
| | | 期末考査(11/29～12/3) | | | ○ | | ◎ | |
| | 12 | UNIT 25 | 比較・対照 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | | UNIT 26 | 例示 | ◎ | ○ | | | |
| 冬季 | | 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | | |
| 三学期 | 1 | UNIT 27 | 原因と結果 | | ○ | ○ | ○ | |
| | | UNIT 28 | 事物を紹介する | | ◎ | ○ | ○ | |
| | 2 | <家庭学習> | | ◎ | ○ | | | |
| | | | | ◎ | ○ | | | |
| | 3 | 学年末考査4・5年(2/21～2/28) | | | ◎ | ○ | | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-------|----|----|----|----------|-----|---|----|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 英語表現Ⅱ | 学年 | 6年 | 類型 | グローバル理科系 | 単位数 | 2 | 単位 |
|----|-----|----|-------|----|----|----|----------|-----|---|----|

| | | | |
|------|--------------------------------|------|------|
| 教科書名 | DUALSCOPE English Expression Ⅱ | 出版社名 | 数研出版 |
|------|--------------------------------|------|------|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 |
|------------------|----|-----------------------|-----------------------|-------|---|---|---|---|
| | | 単元 | 内容 | 関 | 表 | 理 | 知 | |
| 一学期 | 4 | UNIT 9 | 文型 | | ○ | ○ | ○ | 授業の概要 情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して言語活動を行います。発表の仕方や討論のルール、それらの活動のために必要な表現などを学習し、実際に活用します。聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えを論理的にまとめたりします。 |
| | | UNIT 10 | 使役動詞/知覚動詞 | ◎ | ○ | | | |
| | | UNIT 11 | 分詞/不定詞/同格 | ◎ | ○ | | | |
| | | UNIT 12 | 関係詞の制限用法 | ◎ | ○ | | | |
| | 5 | UNIT 13 | 関係詞の非制限用法/複合関係詞 | | | ◎ | ○ | |
| | | 中間考査(5/18～5/21) | | | ○ | | ◎ | |
| | | EXTRA UNIT 1 | 名詞 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 6 | EXTRA UNIT 2 | 冠詞 | | ○ | ○ | | |
| | | EXTRA UNIT 3 | 形容詞 | ◎ | ○ | ○ | | |
| | | BONUS UNIT | 前置詞 | | ○ | ○ | ○ | |
| | 7 | Tips for Expression ① | Japanese English | ◎ | ○ | ○ | | |
| | | 期末考査(6/28～7/2) | | | ○ | ○ | ◎ | |
| | | UNIT 14 | 目的の表現/夢・目標 | ◎ | ○ | | | |
| | | UNIT 15 | 程度・結果の表現/学校生活 | ◎ | ○ | | | |
| 二学期 | 8 | UNIT 16 | 原因・理由の表現/興味・関心 | ◎ | ○ | | | |
| | | 夏季休業日(7/21～8/24) | | | | | | |
| | 9 | UNIT 17 | 譲歩の表現/社会・福祉 | ◎ | ○ | | | |
| | | UNIT 18 | 比較の表現①/技術・文明 | ◎ | ○ | ○ | | |
| | | UNIT 19 | 比較の表現②/日本文化・国際理解 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | 10 | UNIT 20 | 条件・家庭の表現/言語・コミュニケーション | | ◎ | ○ | ○ | |
| | | UNIT 21 | 否定の表現/自然・環境 | | ○ | ○ | ○ | |
| | | 中間考査5年(9/28～10/1) | | | ◎ | ○ | | |
| | | 中間考査4・6年(10/5～10/8) | | | ◎ | ○ | ○ | |
| | 11 | Tips for Expression ② | Words to Note | | ◎ | ○ | ○ | |
| | | UNIT 22 | パラグラフの構成・つながり表現 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | | UNIT 23 | 列挙・時間的順序 | | ◎ | ○ | | |
| | | UNIT 24 | 追加・言い換え | | ◎ | ○ | ○ | |
| | 12 | 期末考査(11/29～12/3) | | | ○ | | ◎ | |
| UNIT 25 | | 比較・対照 | | ○ | ◎ | ○ | | |
| UNIT 26 | | 例示 | | ◎ | ○ | | | |
| 冬季休業日(12/21～1/6) | | | | | | | | |
| 三学期 | 1 | UNIT 27 | 原因と結果 | | ○ | ○ | ○ | |
| | | UNIT 28 | 事物を紹介する | | ◎ | ○ | ○ | |
| | 2 | <家庭学習> | | | ◎ | ○ | | |
| | | 学年末考査4・5年(2/21～2/28) | | | ◎ | ○ | | |
| | 3 | | | | ◎ | ○ | | |

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

| | | | | | | | | | | |
|----|-----------|----|------------|----|-----|----|----------|-----|---|----|
| 教科 | グローバル・スキル | 科目 | グローバル・スキルⅢ | 学年 | 6 年 | 類型 | グローバル文科系 | 単位数 | 3 | 単位 |
|----|-----------|----|------------|----|-----|----|----------|-----|---|----|

| | | | |
|------|-----------|------|------------|
| 教科書名 | グローバル・スキル | 出版社名 | 宇和島南中等教育学校 |
|------|-----------|------|------------|

| 学期 | 月 | 指導計画 | | 評価の観点 | | | | 授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等 | | |
|---------------------|----------------------|------------------|--|--|---|---|--|--|---|--|
| | | 単元 | 内容 | 関 | 表 | 理 | 知 | | | |
| 一 学 期 | 4 | スピーチ・トレーニング ① | 子どもの頃の思い出を話そう used to ~、would often ~を使って | ○ | ◎ | ○ | ○ | 授業の概要 スピーチ・プレゼンテーション・ディベート等の方法を体験的に学びます。コミュニケーションを図ろうとする態度や知識・技能、思考力・判断力・表現力を統合して育成する活動を行います。 学習の到達目標 ・積極的に英語でコミュニケーションを図ることができる。 ・英語の実践的運用能力を身に付ける。 ・コミュニケーションを図ろうとする態度や知識・技能、思考力・判断力・表現力を総合的に身に付ける。 | | |
| | | スピーチ・トレーニング ② | 日本人の特徴について話そう 受動態を使って | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | スピーチ・トレーニング ③ | 目標や夢について話そう to 不定詞を使って | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | 中間考査(5/18~5/21) | | | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | 5 | スピーチ・トレーニング ④ | 好きなことについて話そう 知覚動詞・使役動詞を使って | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | パフォーマンス・テスト ① | 練習 パフォーマンス・テスト | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | 6 | 期末考査(6/28~7/2) | | | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | スピーチ・トレーニング ⑤ | 乗り物でのマナーについて話そう 動名詞・分詞を使って | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | スピーチ・トレーニング ⑥ | 部活動を紹介しよう | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | 夏季休業日(7/21~8/24) | | | | | | | | |
| | 二 学 期 | 8 | スピーチ・トレーニング ⑦ | 関係代名詞を使って 健康について話そう | ○ | ◎ | ○ | | ○ | 評価の観点 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。 外国語表現の能力 外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。 外国語理解の能力 外国語で聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 言語や文化についての知識・理解 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 |
| | | | スピーチ・トレーニング ⑧ | 関係代名詞whatを使って 行きたい場所について話そう 関係副詞を使って | ○ | ◎ | ○ | | ○ | |
| 中間考査5年(9/28~10/1) | | | | | ◎ | ○ | ○ | | | |
| 中間考査4・6年(10/5~10/8) | | | | | ◎ | ○ | ○ | | | |
| 9 | | スピーチ・トレーニング ⑨ | 天気を説明しよう 比較表現を使って | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | スピーチ・トレーニング ⑩ | なりたいものについて話そう 仮定法を使って | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | パフォーマンス・テスト ② | 練習 パフォーマンス・テスト | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | 期末考査(11/29~12/3) | | | ◎ | ○ | ○ | | | |
| 10 | | スピーチ・トレーニング ⑪ | 驚いた出来事について話そう 否定表現を使って | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| | | 冬季休業日(12/21~1/6) | | | | | | | | |
| | | パフォーマンス・テスト ③ | グラフを見て質問に答えよう | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | パフォーマンス・テスト ④ | 4コマのイラストのストーリーを説明しよう 家庭学習 | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 11 | パフォーマンス・テスト ④ | | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | 学年末考査4・5年(2/21~2/28) | | | ◎ | ○ | ○ | | | | |
| | | | | ◎ | ○ | ○ | | | | |
| | | | | ◎ | ○ | ○ | | | | |
| 三 学 期 | 1 | | | ◎ | ○ | ○ | 評価方法 学習の状況は、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」「外国語表現」「外国語理解」「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」「授業態度・取り組み方」「定期考査」「提出物(レポートやノート)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。 | | | |
| | | | | ◎ | ○ | ○ | | | | |
| | 2 | | | ◎ | ○ | ○ | | 備考 | | |
| 3 | | | | ◎ | ○ | ○ | | | | |
| | | | | ◎ | ○ | ○ | | | | |